

第3回玉名市本庁舎跡地等活用検討委員会資料

日時：平成26年7月28日(月)14時

場所：玉名市文化センター 第2研修室

=====

次 第

1 開会

2 委員長挨拶

3 議事

(1) 市庁舎跡地活用に係る玉名商工会議所の提案について

(2) 本庁舎跡地に係る活用の基本方針、具体的活用方法について

(3) 答申案の構成について

(4) その他

※第4回の委員会は、 月 日 () : 時から開催

4 閉会

【 資 料 】

■事前配布■

- ・第2回玉名市本庁舎跡地等活用検討委員会会議録(未定稿)
- ・玉名商工会議所作成の「市庁舎跡地活用検討会報告書」
(※第2回検討委員会で確定版を配布済)

■本日配布■

- ・第3回玉名市本庁舎跡地等活用検討委員会資料【本冊】
- ・第1回玉名市本庁舎跡地等活用検討委員会会議録(確定)

第3回 玉名市本庁舎跡地等活用検討委員会 出席者名簿

■委員

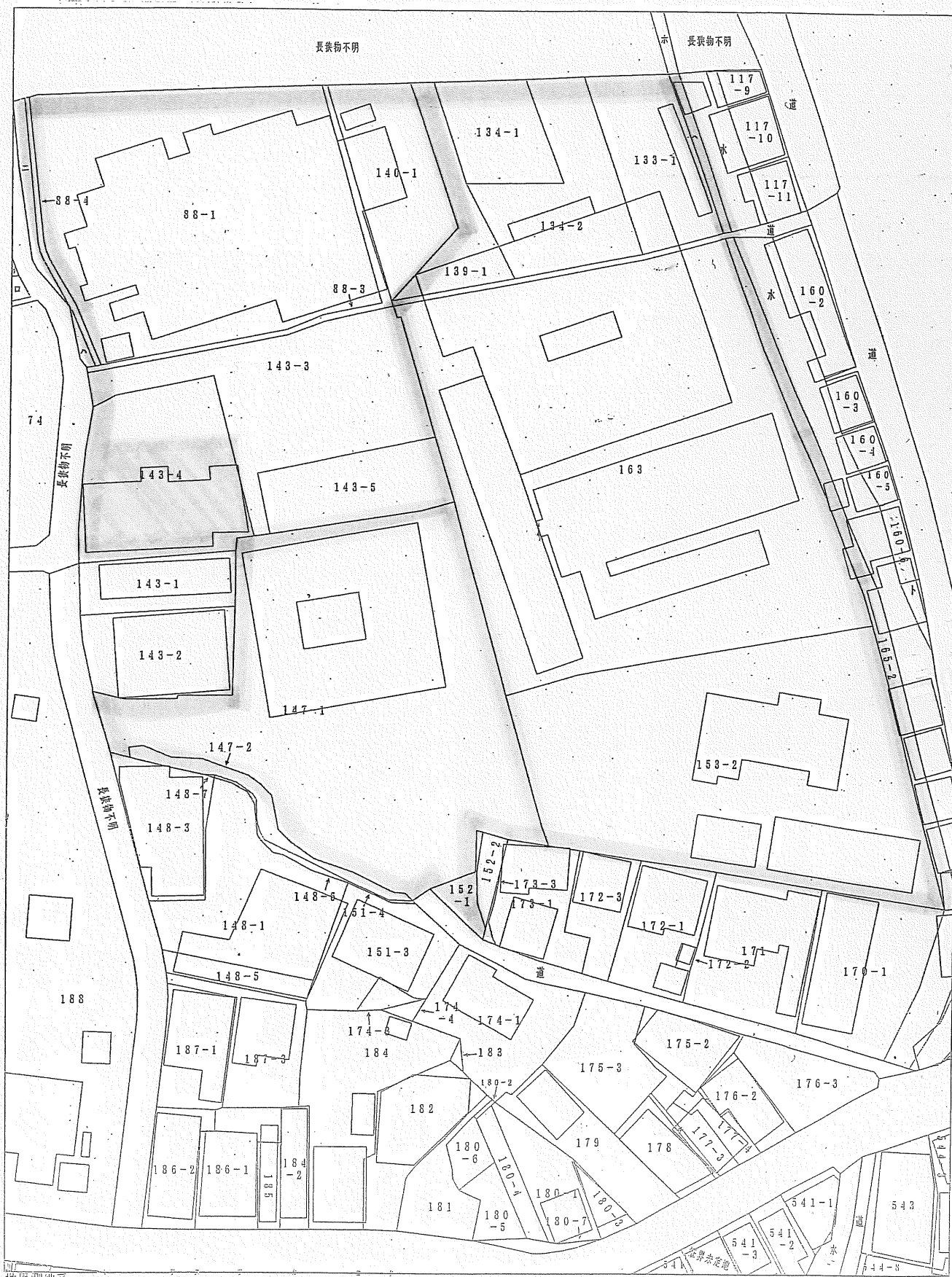
No.	役職	氏 名	所属団体・役職等	備考
1	委員長	秋元 一秀	崇城大学工学部建築学科 教授	
2	副委員長	平野 幸人	玉名商工会議所 会頭	
3	委員	作見 嘉一郎	玉名地域協議会 委員	
4	委員	前田 敦子	岱明地域協議会 会長	
5	委員	大柿 貴宏	横島地域協議会 委員	
6	委員	村上 優一	天水地域協議会 会長	
7	委員	松村 誠一	玉名市区長会協議会 会長	
8	委員	村端 勝洋	玉名市区長会協議会 副会長	
9	委員	渡邊 宣二	玉名市区長会協議会 委員	
10	委員	西村 敏男	玉名市商工会 会長	
11	委員	竹内 方茂	玉名市商店会連盟 会長	
12	委員	西林 裕起	玉名青年会議所 専務理事	
13	委員	加藤 景興	市庁舎周辺開発推進協議会 会長	
14	委員	高井 信彦	※公募により選任	
15	委員	森 辰興	※公募により選任	

■第7条出席者(委員長意見を求める者)

No.	氏 名	備 考
1	山名 勇生	玉名商工会議所(中小企業相談所所長 経営指導員)

■事務局

No.	役 職	氏 名	備 考
1	企画経営部長	原口 和義	市議会特別委員会に出席のため、欠席
2	企画経営課長	島崎 賢二	市議会特別委員会に出席のため、欠席
3	企画経営課課長補佐	松田 智文	主担当
4	企画経営課企画係主任	田上 真紀	副担当



庁舎跡地の活用に係る基本方針の方向性

1 主な方向性

①中心市街地の活性化 ⇔ ②賑わいの創出

- ・世代間交流、人的交流、出会いを促す場の創出
- ・人の流れ・集いの創出。若者が集まる場の創出
- ・憩いの場、ふれあいの場の創出

<そのための方法>

【A】文化センターとの連携（機能の拡大・関連施設の併設）

- ・芸術文化の拠点機能としての整備
- ・まちづくり支援拠点の整備
- ・学びの場、文教の場としての整備
- ・世代間交流を支援する施設の整備
- ・人が集う公共施設の整備

【B】定住人口の増加（街中居住の推進・支援）

- ・集合住宅の整備
- ・下駄履き住宅の整備
- ・単身者、高齢者マンションの整備

2 留意すべき視点

- ①周辺市街地、周辺地域の活性化に資する活用
- ②限られた資源の市や市民にとっての有効活用
- ③将来に負担を残さない活用
- ④民間資本を活用した活用（※P F I、一部土地の民間売却）
- ⑤ゆとりある土地活用（※駐車場の確保）
- ⑥自然（川や杜）を市民各層へ享受する活用（※楠木の保全）
- ⑦シンボライズとしての活用
- ⑧公共施設建設のデザインや開発コンセプトに影響を与える活用
- ⑨周辺道路の整備を平行して実施

活用の基本方針や活用方法の検討にあたっての視点

実現性・経済性

- ・整備に必要な経費について、行政予算の投入や民間資本の導入を想定した場合の実現可能性の視点
- ・整備した施設のランニングコスト（維持管理費、施設改修費など）などの支出面や、使用料・利用料など収入面での評価の視点
- ・地域経済に及ぼす直接的又は間接的な波及効果に対する視点

利便性・賑わい度

- ・新たな人の流れや集いの創出など、地域の賑わいの向上や空洞化の抑制に資する期待度の視点
- ・市民や来訪者にとって利用頻度の増加（リピーターの増加）が期待できるものであるかの視点

公平・公共・公益性

- ・より多くの市民や来訪者に利益の享受が可能であり、限定的利用者や特定集団に利益が偏るものではないかの視点
- ・より多くの市民に幸福感や利益をもたらすもので、総じて有益なものであるかの視点

代替性

- ・民間による整備によることが、より妥当ではないかの視点
- ・近隣市や他に類似施設がないなど、当地区に整備すべきものとして妥当あるかの視点

実効性

- ・期待する効果や影響が比較的短期間で客観的に確認できるものであるかの視点

話題性

- ・整備内容に対する注目度や集客効果に対する評価・期待度の視点

必要性

- ・広く市民から望まれているものであるか、また、その期待を満たすものであるかの視点
- ・概ね恒久的に求められるニーズであり、時勢により限定されるものではないかの視点

反感性

- ・限定的な者であっても、嫌悪や反対を抱かれる可能性が極めて少ないものであるかの視点

答申書の構成案

1 序章（答申書の提出にあたって）

- ・ 検討委員会が組織された経緯
- ・ 検討にあたっての留意した事柄
- ・ 答申書を提出にあたっての要望

※検討委員会委員長名で 600 文字程度

2 庁舎跡地の全体像について

- ・ 本庁舎跡地の歴史・検討までの経緯
- ・ 本庁舎跡地の周辺地域との関わり、地理的な位置づけ
- ・ 本庁舎跡地の周辺施設との関係性
- ・ 本庁舎跡地の活用にあたっての土地利用の方向性

3 活用の基本方針

（１）

（２）

4 本庁舎跡地活用の具体的な提案

※具体的な提案内容を文章で説明する。

5 資料

- ・ 委員名簿
- ・ 検討の経緯
- ・ 諮問書